

# 【2】1級の出題ポイントと弱点

## ◆1級の出題ポイント <出題欄の◎は計算問題あり>

まず、1級の出題ポイントについて述べます。1級の「役割」は単なる管理者の役割だけではなく『企業経営体』や『経営上の問題と課題』『日本における経営活動の考え方』など、経営という大きな視野をもっているか、そしてその視点で日々のマネジメントを実践しているかを確認する問題です。

他の4分野においても、「品質」は『工程能力図の分析』『品質リスクマネジメントの構築』、「コスト」は『損益分岐点』『売上差異分析』、「納期・生産管理」は『経済発注量』『最適生産計画』『キャッシュコンバージョンサイクル』『サプライチェーンマネジメント』、「安全・環境」は『安全管理の効果的な進め方』『資源生産性』など、いずれも管理者必須の項目が出題されています。以下の内容を参考に、一つひとついねいに学習し、生産マスターの管理者として活躍していただきたいと思います。

単位	章	節	ページ	分野	出題	出題数	配点
第1単位	1	管理者の位置づけと役割		役割		9	15
		1.1 管理者の位置づけ	2-3		○		
	2	企業経営の目的・構造・業績		役割			
		2.1 企業経営の目的と企業の社会的責任	12-15		○		
		2.2 企業経営の三次元構造	16-19		○		
	3	総合経営力とは何か		役割			
		3.2 経営上の問題・課題の量と構成レベル	34-36		○		
	4	組織と機能		役割			
		4.2 組織と機能分担構造(組織形態)	46-54		○		
		4.3 組織とコミュニケーションネットワーク	55-56		○		
		4.4 組織の責任と権限の枠組み	57-62		○		
		5 管理者と行動科学		役割			
	5.3 日本における経営行動の考え方	75-79		○			
	6 管理者に求められる行動		役割				
	6.2 管理者の役割と行動	89-93		○			
第2単位	1	原価管理の構造		コスト		13	28
		1.1 工場業績と原価管理	2-7		◎		
		1.2 コストマネジメントの構造	8-13		○		
	2	コストマネジメントとしての標準原価と予算管理		コスト			
		2.1 標準原価計算システムと標準原価計算の概要	24-28		○		
		2.3 予算とその経営的機能	36-43		◎		
	3	設計・生産準備段階のコストマネジメント		コスト			
		3.1 設計変更ロスとコスト面から見た設計部門の特性	54-60		○		
		3.2 設計段階におけるコストマネジメント	61-71		○		
	4	生産段階のコストリダクション		コスト			
		4.1 コストリダクションとコスト変動の認識	82-85		○		
		4.2 工数削減と効果	86-93		◎		
	4.4 生産計画とコストリダクション	97-103		◎			
第3単位	1	経営と品質		品質		10	21
		1.1 経営と品質管理	2-4		○		
		1.2 経営課題としての品質	5-12		○		
	2	工場における品質保証と工程管理		品質			
		2.1 工場における品質保証の基本	26-30		○		
		2.2 工程能力	31-34		○		
		2.4 管理図と工程管理	40-45		○		
		2.5 統計的品質管理	46-56		◎		
	3	品質のための4M管理		品質			
		3.1 働く人と小集団活動	60-65		○		
		3.4 標準化と規格化	75-80		○		
	4	品質保証の実現と高度化		品質			
	4.2 品質リスクマネジメント	88-96		○			
第4単位	1	生産管理の目的と役割		納期・生産管理		11	25
		1.2 生産管理とキャッシュフロー	5-10		◎		
	2	生産管理の機能とポイント		納期・生産管理			
		2.1 販売計画と受注管理	14-18		○		
		2.2 在庫計画	19-25		◎		
		2.3 生産計画と統制	26-34		○		
	3	サプライチェーンマネジメント(SCM)と今後の課題		納期・生産管理			
		3.1 サプライチェーンマネジメント(SCM)の意義と対象範囲	46-53		○		
		3.3 SCM・生産管理の今後の課題	65-70		○		
	4	労働安全衛生マネジメントと安全文化の醸成		安全・環境			
		4.1 安全活動の活性化	74-75		○		
		4.2 労働安全衛生マネジメントシステムの構築	76-78		○		
	4.3 安全文化の醸成	79-84		○			
5	環境マネジメントシステムの有効活用		安全・環境				
	5.1 環境と経営(QCD改善)の両立	88-90		○			
	5.3 環境と経営の両立に役立つツール	94-99		○			
計						50	100

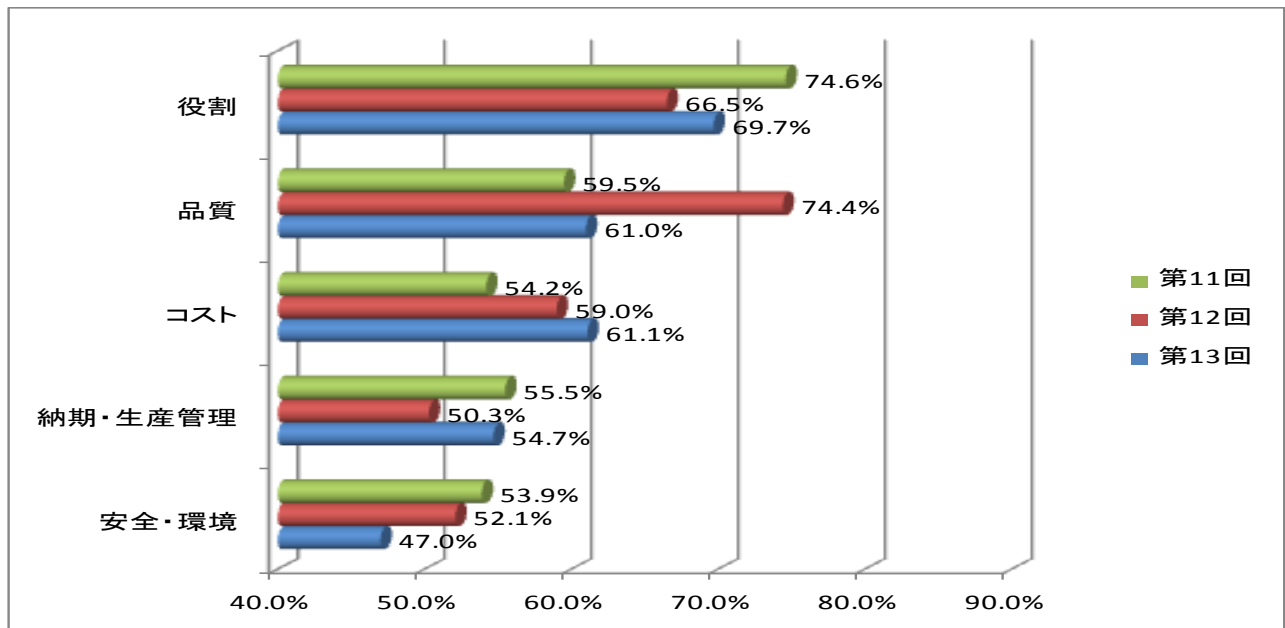
## ◆1級の分野別得点率と弱点項目

第13回は「品質」の得点率が第12回よりも大きく落ち込んだこと（74.4%→61.0%、マイナス13.4ポイント）や、また「安全・環境」の得点率が低いこと（半分を割って、47.0%）が響き、残念ながら第12回に比べて3.8ポイント、合格率が下がりました。

分野ごとの詳細を見ると、「品質」は『工程能力図の分析：第3単位 P32』『品質リスクマネジメント構築の留意点：同 P92-96』、「コスト」は『売上差異分析の計算：第2単位 P42-43』『最適生産計画の計算：同 P102』、「納期・生産管理」は『キャッシュコンバージョンサイクルの計算：第4単位 P9』『計画管理と進捗計画：同 P27-33』、「安全・環境」は『安全文化：同 P82-84』『資源生産性：同 P89-90』が芳しくありません。

特に、会社の機能全体を俯瞰し、全体最適の体制を構築するSCMの実現において「その検討する際のモノサシであるキャッシュコンバージョンサイクルを理解する」ことは、管理者たる1級の必須要件といえます。自社の状況を鑑みて、改善・改革を進める際の基礎データとなりますので、テキストを復習して完全に理解してください。

### ●分野別得点率



### ●キャッシュコンバージョンサイクル

#### ・キャッシュコンバージョンサイクルの計算

売上債権回転日数は  $\frac{\text{売上債権額}}{\text{売上高}} \times 365\text{日}$

棚卸資産回転日数は  $\frac{\text{棚卸資産額上}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$

仕入債務回転日数は  $\frac{\text{平均仕入債務額}}{\text{売上原価}} \times 365\text{日}$

キャッシュコンバージョンサイクルは、売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-仕入債務回転日数